

豊川中学校 学校だより

ON THE ROAD 2022 NO.9

自立・共生・連帯 ～自分を信頼しよう、信頼できる仲間をつくらう！～

http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh05/htdocs/ ☎072-643-1567

2022年12月1日発行 発行責任者 橋長 克雅



寒くなってきましたね。季節は冬へ。なかなか布団から出られない人も増えてきたかな？ 2022年も残りわずか。今年の締めくくりの月ですね。

3年生にとっては進路選択の時期となりました。毎日の生活、冬休みの過ごし方も大切です。仲間とともに進路を切り拓こう！

行事予定

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
				1 木1～6	2 金1～4+総 45分×5 部活停止 あいさつ運動2-2	3
4	5 月1～4+補+学 2年クラスマッチ	6 火1～6 3年クラスマッチ 学校保健委員会 職員会議	7 水1～6 学校保健委員会 2年救急救命講習	8 木1～6 PTA指名委員会 45分×6	9 金1～6 あいさつ運動3-1 45分×6 1年クラスマッチ	10
11	12 月1～4+補+学 芸術鑑賞会	13 火1～6	14 水1～6	15 木1～6	16 金1～4 あいさつ運動3-2 45分×4 三者懇談①	17
18	19 特別時間割 45分×4 三者懇談②	20 特別時間割 45分×4 三者懇談③	21 特別時間割 45分×4 三者懇談④	22 特別時間割 45分×4 三者懇談⑤	23 終業式 授・授・掃・式 みどり交流会	24 冬季休業
25 冬季休業	26 冬季休業	27 冬季休業	28 冬季休業 仕事納め	29 冬季休業	30 冬季休業	31 冬季休業 大晦日

※ 今後、新型コロナウイルス感染状況が変れば変更されることもあります。

※ 12月の日は、給食がありません。

1月の主な行事予定

- 冬季休業【元日(日)～9日(月)】
- 3学期始業式【10日(火)】
- 3年実力テスト、1,2年チャレンジテスト【11日(水)】
- 三校合同授業研【16日(月)】
- 3年学年末テスト【26日(木)、27日(金)】

糸を編んで、一枚の布を仕上げるように、仲間の絆を育んでいこう！！

11月17日の朝、生徒集会が開かれました。全校生徒が集まり、生徒会本部役員からアピー行われるのは、本当に久しぶりでした。本部役員が話し合ってつくりあげたスローガンに込められた意味をまとめてみます。

仲間と共に育む
絆の糸

後期の生徒会本部役員会で、生徒全員が過ごしやすい学校をめざすために、スローガンを作成しました。それが、玄関に掲示されている「仲間と共に育む絆の糸」です。自分だけが楽しい、自分だけが安心できる学校ではなく、誰もが安心して生活できて、仲間とともに成長していこうという思いが込められています。

絆の糸を、全員で絡め合いながら、誰も見捨てない学校をめざしていきましょう！！

人権学習での一人ひとりの学びが、「絆の糸を育む力」に！ 偏見や差別をなくし、「社会を変える力」に！！

2学期も、各学年でさまざまな人権学習に取り組んできました。1年生は多文化共生、2年生は部落差別やインターネットと人権について、3年生は「みため」問題。どの学年も、自分とは遠く離れた世界のことを知ったというのではなく、身近な問題につなげたり、自分がどう向き合っていくのかを考えました。しっかりと学んでくれました！！すばらしい！！今回は、3年生の人権総合通信『GREEN DAY』より、学習を通してのふりかえりを紹介します。

「冗談やから」「ネタやから」と言われても、冗談でもネタでも傷つくもんは傷つくし、「ノリ通じひん」とか、「ノリ悪い」とか感じたら傷ついてるなって気付いてほしい。いじめられてとか、嫌がってる子を見かけたら迷わず助けられる人になりたいと思った。

☆ 〆「傷つけるつもりは、なかったん。」と言われても、傷ついた気持ちは元には戻りません。ふざけが過ぎたり、調子に乗って誰かを傷つけていないか、気づくことができる人、集団にならなければ！

社会での固定概念が「ふつう」を生み出していて、それがみんなを生きづらくさせていると思う。何かを基準にするのはおかしいし、自分の基準を人に押し付けることもほかの人がしんどい思いをする原因だと思う。人はそれぞれ考え方もみためも違うし、同じ人は絶対いない。

☆ 〆「ふつう」を生み出しているのは、一人ひとりの意識が集まった「多数派」の意見。ならば、一人ひとりが変われば、「ふつう」という物差しも変わるということですね！

みために関する授業を受ける前と後では、とても考え方が変わったように感じました。最初に映画を見た時の見ためは変えられないから、見方を変えなければいけないという言葉がまだ、とても印象に残っていて、これからは少しずつ見方を変えていけたらいいなあと思いました。

☆ 〆 差別される側に問題があるのではなく、する側に問題がある。見方(周囲)が変われば、問題は解決へと向かう！

豊川中学校 学校だより

ON THE ROAD 2022 NO.9

自立・共生・連帯 ～自分を信頼しよう、信頼できる仲間をつくらう！～

http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh05/htdocs/ ☎072-643-1567

2022年12月1日発行 発行責任者 橋長 克雅



寒くなってきましたね。季節は冬へ。なかなか布団から出られない人も増えてきたかな？ 2022年も残りわずか。今年の締めくくりの月ですね。

3年生にとっては進路選択の時期となりました。毎日の生活、冬休みの過ごし方も大切です。仲間とともに進路を切り拓こう！

行事予定

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
				1 木1～6	2 金1～4+総 45分×5 部活停止 あいさつ運動2-2	3
4	5 月1～4+補+学 2年クラスマッチ	6 火1～6 3年クラスマッチ 学校保健委員会 職員会議	7 水1～6 学校保健委員会 2年救急救命講習	8 木1～6 PTA指名委員会 45分×6	9 金1～6 あいさつ運動3-1 45分×6 1年クラスマッチ	10
11	12 月1～4+補+学 芸術鑑賞会	13 火1～6	14 水1～6	15 木1～6	16 金1～4 あいさつ運動3-2 45分×4 三者懇談①	17
18	19 特別時間割 45分×4 三者懇談②	20 特別時間割 45分×4 三者懇談③	21 特別時間割 45分×4 三者懇談④	22 特別時間割 45分×4 三者懇談⑤	23 終業式 授・授・掃・式 みどり交流会	24 冬季休業
25 冬季休業	26 冬季休業	27 冬季休業	28 冬季休業 仕事納め	29 冬季休業	30 冬季休業	31 冬季休業 大晦日

※ 今後、新型コロナウイルス感染状況が変れば変更されることもあります。

※ 12月の日は、給食がありません。

1月の主な行事予定

- 冬季休業【元日(日)～9日(月)】
- 3学期始業式【10日(火)】
- 3年実力テスト、1,2年チャレンジテスト【11日(水)】
- 三校合同授業研【16日(月)】
- 3年学年末テスト【26日(木)、27日(金)】

糸を編んで、一枚の布を仕上げるように、仲間の絆を育んでいこう！！

11月17日の朝、生徒集会が開かれました。全校生徒が集まり、生徒会本部役員からアピー行われるのは、本当に久しぶりでした。本部役員が話し合ってつくりあげたスローガンに込められた意味をまとめてみます。

仲間と共に育む
絆の糸

後期の生徒会本部役員会で、生徒全員が通じやすい学校をめざすために、スローガンを作成しました。それが、玄関に掲示されている「仲間と共に育む絆の糸」です。自分だけが楽しい、自分だけが安心できる学校ではなく、誰もが安心して生活できて、仲間とともに成長していこうという思いが込められています。

絆の糸を、全員で絡め合いながら、誰も見捨てない学校をめざしていきましょう！！

人権学習での一人ひとりの学びが、「絆の糸を育む力」に！ 偏見や差別をなくし、「社会を変える力」に！！

2学期も、各学年でさまざまな人権学習に取り組んできました。1年生は多文化共生、2年生は部落差別やインターネットと人権について、3年生は「みため」問題。どの学年も、自分とは遠く離れた世界のことを知ったというのではなく、身近な問題につなげたり、自分がどう向き合っていくのかを考えました。しっかりと学んでくれました！！すばらしい！！今回は、3年生の人権総合通信『GREEN DAY』より、学習を通してのふりかえりを紹介します。

「冗談やから」「ネタやから」と言われても、冗談でもネタでも傷つくもんは傷つくし、「ノリ通じひん」とか、「ノリ悪い」とか感じたら傷ついてるなって気付いてほしい。いじめられてとか、嫌がってる子を見かけたら迷わず助けられる人になりたいと思った。

☆ 〆「傷つけるつもりは、なかったん。」と言われても、傷ついた気持ちは元には戻りません。ふざけが過ぎたり、調子に乗って誰かを傷つけていないか、気づくことができる人、集団にならなければ！

社会での固定概念が「ふつう」を生み出していて、それがみんなを生きづらくさせていると思う。何かを基準にするのはおかしいし、自分の基準を人に押し付けることもほかの人がしんどい思いをする原因だと思う。人はそれぞれ考え方もみためも違うし、同じ人は絶対いない。

☆ 〆「ふつう」を生み出しているのは、一人ひとりの意識が集まった「多数派」の意見。ならば、一人ひとりが変われば、「ふつう」という物差しも変わるということですね！

みために関する授業を受ける前と後では、とても考え方が変わったように感じました。最初に映画を見た時の見ためは変えられないから、見方を変えなければいけないという言葉がまだ、とても印象に残っていて、これからは少しずつ見方を変えていけたらいいなあと思いました。

☆ 〆 差別される側に問題があるのではなく、する側に問題がある。見方(周囲)が変われば、問題は解決へと向かう！

豊川中学校 学校だより

ON THE ROAD 2022 NO.9

自立・共生・連帯 ～自分を信頼しよう、信頼できる仲間をつくらう！～

http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh05/htdocs/ ☎072-643-1567

2022年12月1日発行 発行責任者 橋長 克雅



寒くなってきましたね。季節は冬へ。なかなか布団から出られない人も増えてきたかな？ 2022年も残りわずか。今年の締めくくりの月ですね。

3年生にとっては進路選択の時期となりました。毎日の生活、冬休みの過ごし方も大切です。仲間とともに進路を切り拓こう！

行事予定

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
				1 木1～6	2 金1～4+総 45分×5 部活停止 あいさつ運動2-2	3
4	5 月1～4+補+学 2年クラスマッチ	6 火1～6 3年クラスマッチ 学校保健委員会 職員会議	7 水1～6 学校保健委員会 2年救急救命講習	8 木1～6 PTA指名委員会 45分×6	9 金1～6 あいさつ運動3-1 45分×6 1年クラスマッチ	10
11	12 月1～4+補+学 芸術鑑賞会	13 火1～6	14 水1～6	15 木1～6	16 金1～4 あいさつ運動3-2 45分×4 三者懇談①	17
18	19 特別時間割 45分×4 三者懇談②	20 特別時間割 45分×4 三者懇談③	21 特別時間割 45分×4 三者懇談④	22 特別時間割 45分×4 三者懇談⑤	23 終業式 授・授・掃・式 みどり交流会	24 冬季休業
25 冬季休業	26 冬季休業	27 冬季休業	28 冬季休業 仕事納め	29 冬季休業	30 冬季休業	31 冬季休業 大晦日

※ 今後、新型コロナウイルス感染状況が変れば変更されることもあります。

※ 12月の日は、給食がありません。

1月の主な行事予定

- 冬季休業【元日(日)～9日(月)】
- 3学期始業式【10日(火)】
- 3年実力テスト、1,2年チャレンジテスト【11日(水)】
- 三校合同授業研【16日(月)】
- 3年学年末テスト【26日(木)、27日(金)】

糸を編んで、一枚の布を仕上げるように、仲間の絆を育んでいこう！！

11月17日の朝、生徒集会が開かれました。全校生徒が集まり、生徒会本部役員からアピー行われるのは、本当に久しぶりでした。本部役員が話し合ってつくりあげたスローガンに込められた意味をまとめてみます。

仲間と共に育む
絆の糸

後期の生徒会本部役員会で、生徒全員が過ごしやすい学校をめざすために、スローガンを作成しました。それが、玄関に掲示されている「仲間と共に育む絆の糸」です。自分だけが楽しい、自分だけが安心できる学校ではなく、誰もが安心して生活できて、仲間とともに成長していこうという思いが込められています。

絆の糸を、全員で絡め合いながら、誰も見捨てない学校をめざしていきましょう！！

人権学習での一人ひとりの学びが、「絆の糸を育む力」に！ 偏見や差別をなくし、「社会を変える力」に！！

2学期も、各学年でさまざまな人権学習に取り組んできました。1年生は多文化共生、2年生は部落差別やインターネットと人権について、3年生は「みため」問題。どの学年も、自分とは遠く離れた世界のことを知ったというのではなく、身近な問題につなげたり、自分がどう向き合っていくのかを考えました。しっかりと学んでくれました！！すばらしい！！今回は、3年生の人権総合通信『GREEN DAY』より、学習を通してのふりかえりを紹介します。

「冗談やから」「ネタやから」と言われても、冗談でもネタでも傷つくもんは傷つくし、「ノリ通じひん」とか、「ノリ悪い」とか感じたら傷ついてるなって気付いてほしい。いじめられてとか、嫌がってる子を見かけたら迷わず助けられる人になりたいと思った。

☆ 〆「傷つけるつもりは、なかったん。」と言われても、傷ついた気持ちは元には戻りません。ふざけが過ぎたり、調子に乗って誰かを傷つけていないか、気づくことができる人、集団にならなければ！

社会での固定概念が「ふつう」を生み出していて、それがみんなを生きづらくさせていると思う。何かを基準にするのはおかしいし、自分の基準を人に押し付けることもほかの人がしんどい思いをする原因だと思う。人はそれぞれ考え方もみためも違うし、同じ人は絶対いない。

☆ 〆「ふつう」を生み出しているのは、一人ひとりの意識が集まった「多数派」の意見。ならば、一人ひとりが変われば、「ふつう」という物差しも変わるということですね！

みために関する授業を受ける前と後では、とても考え方が変わったように感じました。最初に映画を見た時の見ためは変えられないから、見方を変えなければいけないという言葉がまだ、とても印象に残っていて、これからは少しずつ見方を変えていけたらいいなあと思いました。

☆ 〆 差別される側に問題があるのではなく、する側に問題がある。見方(周囲)が変われば、問題は解決へと向かう！